

オリーブの会通信

مجموعة الزيتون

2022年1月10日第14号 (通巻20号)
 オリーブの会
 大阪府豊能郡能勢町平通101-453
 tel/fax:072-737-9454
 mail: olivenokai_zeztun@yahoo.co.jp
 facebook:oribunokai

フェイスブックのオリーブの会のページに対するブロック、削除の脅しに抗議する。



12月17日、フェイスブックの管理者が突然、規約に違反しているとして、投稿の削除、投稿のブロックを行った。これは、ハマスの軍事演習のニュースを翻訳した記事だった。おりしも、英国がハマスをテロ組織として規定したばかりであった。フェイスブックの管理者の目には、テロ組織がテロの訓練をしているニュースに映ったのだろう。パレスチナでは、フェイスブックがイスラエル寄りであり、パレスチナに抑圧的であることは知られている。しかし、ハマスがイスラエルの侵略に対して、抵抗する訓練を行うことがテロであるなら、抑圧された民族の抵抗権、自衛権を否定することになる。反対にイスラエルの支配は、ランダムに逮捕、殺害、家の破壊などを行うことで、パレスチナ人を恐怖の支配、すなわちテロ支配のもとに置いているのであり、そのテロを非難せず、パレスチナの抑圧支配に対する抵抗をテロと呼ぶのは、明確な抑圧者側に立つ論理である。

さらに、理不尽なのは、一度誤りで、解除すると通知しながら、実際には、投稿をブロックするという行動を同時に行い、反論ができるというので、行おうとしたが、

一切送信されない状態であった。

オリーブの会が、日本の報道で伝えられない、間違っ
て伝えられているパレスチナ現地のニュースを伝えるの
は、日本でのパレスチナへの連帯を拡大させるためであ
る。現在は、制約はなくなったが、政治的な検閲を行う
ことは、SNSとしての自殺行為である。
これが削除対象になった記事です。↓

オリーブの会

作成者: 戸平 和夫 12月17日 9:13

「エルサレムの盾」: カサム旅団が最新の軍事演習の写真を公開 (写真)

2021年12月16日記事、機能、スライダー

ガザのアルカサム旅団の列車。(ガザのアルカサム旅団のメディアユニットによって地元メディアに提供された写真)

パレスチナクロニクルスタッフによる...

もっと見る



‘Shield of Jerusalem’: Qassam Brigades Release Photos of



パレスチナの自治体選挙について

12月11日に西岸で地方自治体の選挙が行われ、第二回の投票でガザでも行われるといわれている。ガザではハマスが反対しており、行われるかどうかは不明である。

「ヨルダン川西岸のパレスチナ自治区で11日、地方選が実施された。自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスは参加を拒否し、ガザでの投票は延期となった。西岸のラマラなど主要都市では3月に行われる。イスラエルが占領を続ける東エルサレムでの実施は見送られた。」

ハマスの立場は、選挙を1回ではなく2回に分割したことを批判し、包括的選挙という基本的権利を否定していると批判している。

東エルサレム問題では、大統領選挙、総選挙の延期の理由が東エルサレムでの選挙をイスラエルが認めないということされた。自治政府は、選挙は東エルサレムを含まなければならないとして、延期を決めた。しかし、ファタハ以外の諸党派は、パレスチナの選挙は、イスラエルの許可を受ける必要がなく、実行すべきというのが立場であった。

延期を決めた自治政府のアッパース大統領に対する不満が高まっており「実施すべきは地方選ではなく、大統領選挙だ」との声は根強い。

中央選挙管理委員会によると、11日に投票があったのは、中小都市や村など計154自治体の議会選。A地区とB地区の主要都市の地方選挙は2022年3月26日に開催予定

有権者(405,687人)の66%がC地区の地方評議会選挙で投票を行ったと語った。無所属系名簿(大部分が一族や部族寄り)が71%の得票率となり、政党所属系名簿は29%の得票率だった。2017年の選挙では、地方評議会選挙で票を投じたのは有権者の53%にとどまった。ファタハ(パレスチナ民族解放運動)は162議席の無投票名簿のうち123議席を獲得したという。

他の名簿では、政治的に誰が勝者となったのかを判断するのは難しい。ほとんどの農村社会で地元の候補者が出馬しており、必ずしも特定の政治勢力に所属または忠実であるとは限らないからだ。

「ほとんどのコミュニティで、当選者は政治的勢力ではなく大規模な部族に属しています」

ファタハは大半の名簿に候補者を立てたが、民主戦線(DFLP)は25の名簿に、パレスチナ解放人民戦線(PFLP)は6名簿、左翼の人民党(PPP)は5名簿、そしてパレスチナ闘争戦線は2名簿で候補者を出すにとどまった。

選挙委員会代表によれば、地方選挙の次のステージとして2022年1月8日に有権者登録が始まる。選挙人名簿の受付は2月8日から始まり、ヨルダン川西岸のAおよびB地区の66の市町村評議会選挙とガザの25の評議会選挙が2月26日に開催される。

大統領選挙も、立法議会選挙も延期したのに、自治体選挙をやるのか。

すでに述べたように、大統領選挙、立法議会選挙は、東

エルサレムでの選挙をイスラエルが認めないことが、東エルサレムを含まない選挙は行わないということが自治政府の説明であった。しかし、今回の地方自治体選挙には、東エルサレムは、含まれていない。同じ問題が存在しているにもかかわらず、地方自治体選挙を行う決定をしている。しかも、2回にわけて、今回はC地区で行われた。

自治政府が選挙で、積極的なのは、この選挙では、西岸でファタハが勝利することは確実であり、結果はその通りになっている。大統領選挙、立法議会選挙では、ファタハがハマスの勝利できないことは明確であったため、自治政府だけでなく、米国、イスラエルもそれらの選挙に反対した。西岸では、ファタハの勝利は確実であったが、ガザではハマスの優勢であることは変わらない。

結果的には、ファタハに有利なところで、自治体選挙をおこなったことに。

世論調査では、アッバースを支持しない人が圧倒的であり、大統領選挙をハマスのハニヤとアッバースが行った場合、アッバースは負けていた。

パレスチナ世論調査では「これらの結果は、ヨルダン川西岸全体とガザ地区のファタハとハマスの間の権力バランスは、ハマスがファタハよりも優れており、ハニエがアッバース大統領に勝利している状況と変化がない。この世論調査では、国民の4分の3がアッバース大統領の辞任を望んでいる。

勢力均衡にも関わらず、ハマスの対する失望がある。ハマスの支持とファタハへの支持の差は、3か月前の26%、6か月前の36%からわずかに、11%に縮小している。ファタハは、代表やリーダーシップにふさわしくないと人の割合が大幅に上昇している。」としている。ハマスの優位はかわっていない。

エルサレムやナブルスでの占領軍、入植者に対する抵抗闘争が命懸けで進んでいる。

地方自治体の選挙は、自治政府を変えるものではなく、部族長などの旧来的な有力者たちが、多くを占め、政党選挙の性格は、小さい。したがって、民族解放闘争に占める影響力は小さい。しかし、パレスチナの情勢は、占領軍と入植者による攻撃や土地の没収、家族の追放、家の破壊などの策動が続いている。イスラエルは国際法に反する行為を続けている。これは、民族浄化と西岸の併合を実施的に進めるものである。そのような状況に対して、組織的ではなく、ここが絶望的な攻撃を、占領軍、入植者たちに行い、多くの殉教者を出している。これは、自治政府にも、その治安部隊にも守られず、自らたたか

うことを強いられている現実がある。ハマスをはじめとするガザに拠点をもつ抵抗勢力も、5月の「エルサレムの剣作戦」以降、目立った動きをしていない。パレスチナ民衆のやむにやまれる闘いは、続いていくことになる。

米国とイスラエルは、アッバースの自治政府の弱体化を防ぎ、ハマスを封じ込めることをパレスチナに対する政策としており、大統領選挙、総選挙を行うことは、ハマスの勝利を導き、アッバースとファタハが敗北することが明確なので、大統領選挙、立法議会選挙に反対してきた。この延期には、ハマスを含むパレスチナの諸党派が反対した。今回の自治体選挙は、政権をめぐる選挙ではなく、ハマスがパレスチナ全体の権力をとるわけではないので、米国とシオニストは反対していない。

パレスチナが自治体選挙を行っている間にも、占領軍と入植者たちの違法なパレスチナ人への攻撃が拡大しており、とくに、エルサレムやナブルスなどで、暴力的な民族浄化、土地の没収、建築許可がないという口実での家の破壊など、実質的な併合のステップが進められている。こうした状況で、自治政府は対応できず、イスラエルと対峙するより、その治安部隊は、パレスチナ人に対して対峙する。

こうした状況の中で、パレスチナ民衆の孤立した闘いが広がりを持ってきている。

ガザでも、ハマスは、イスラエルと捕虜交換交渉を続け、また、エジプト、カタールなどの支援で、再建を行っている状況で、エルサレムの剣作戦以降、大規模な軍事行動を控えている。

イランーイスラエル

中東情勢全体の中心は、パレスチナをめぐる紛争からイランーイスラエルの紛争に移っている。イスラエルは、シリアでのイラン系の動きにして、繰り返し爆撃などの行動を行っている。また、イラン本国に対しては、中央アジアのイラン周辺国と共同を強め、そこを基地としてイランへの諜報と攻撃を行っている。また、アラビア海で、米海軍、UAE、イスラエル軍が共同演習をおこなうなど、緊張は高まり、米軍も爆撃を飛ばすなど、イランに圧力をかけている。

イスラエルにとっては、イランの手先であるレバノンのヒズボラーが軍事的に脅威になっており、北部国境に軍を終結させている。

イスラエルは、パレスチナで大規模な戦闘が行われることは、望んでいない。もちろん、イスラエルは、ガザへの地上戦の演習を行っている。これは、ガザへの脅しとしてある。パレスチナに対しては、自治政府が強化され、

オリーブの会通信 第14号(通巻20号)

ガザでのハマスの影響力を低下させ、弱体化させることが、イスラエルと米国が望むことである。そして、アラブ諸国との正常化をさらにすすめ、イランへの包囲網とパレスチナの孤立をはかっている。

繰り返し言われているが、パレスチナの現状を克服するために必要なことは、民族統一を実現することである。ガザと西岸が分裂している状況は、敵の策動を容易にする。問題は、自治政府は、すでに破産しているオスロ合意と二国家解決方式での交渉という幻想と決別しなければ、統一することはむづかしい。また、イスラエルの強固な物理的な力に対して、より国際的な連帯を広げていくことをさらに進めていく必要がある。

付記パレスチナの世論調査

パレスチナ政策調査研究所が12月8日から11日まで行った世論調査である。

11日に西岸の154の地方自治体でおこなわれた。ガザはハマスが阻止していた。投票率は66%、262,827人の有権者が投票した。

地方選挙が行われる西岸のすべての都市で、ファタハがハマスを上回っている。

イスラエルとの紛争の政治解決について、大多数は2国家解決を拒否している。受け入れ率は、9月の結果と比較して増加し、10月の結果と比較して減少している。他の解決策と比較して、2国家解決が好まれているが、1国家解決方式への支持が4分の一以上ある。

生活環境の改善によるガザと西岸の信頼醸成のステップには、60%以上の人が、支持している。

結果は、パレスチナ側のイスラエルとの無条件の二国間の交渉に復帰することに、3分の2の反対があるにもかかわらず、国民の半分近くの大多数が、国際カルテットの後援のもとで、イスラエルとの交渉への復帰を支持していることを示している。

パレスチナ人の対話への復帰への大多数の反対にもかかわらず、現在の米国の政権では、半数近くの大多数が、和平プロセスに戻るように説得できるという点で、パレスチナ側とイスラエル側に最も影響力ある当事者であると信じています。

また、結果は、武力行動が占領を終わらせるための最良の効果的な方法であるという信念の割合が減少し、交渉がもっとも効果的であるの信念が増加している。それにも関わらず、武力行動への選好は、交渉よりも依然と高い。

結果はまた、パレスチナ国民の最大の割合が、6つの

パレスチナ人権団体をテロ組織として分類する背後にあるイスラエルの動機は、イスラエルの人権侵害を記録するパレスチナ側の能力を弱め、国際刑事裁判所でイスラエル人を試みるパレスチナの努力を弱めることであると信じていることを示しています

1) パレスチナ立法議会と大統領選挙

70%が選挙を行うことを指示している。27%は反対している。ガザ地区では、75%に上昇し、西岸で67%に低下している。52%が(ガザ62%、西岸で45%)選挙は間もなく行われると考えていない。

今日、新しい大統領選挙が行われ、マフムード・アッバースとイスマーイル・ハニエの2人の候補者だけが指名された場合、投票率は51%に達し、参加者の中で、アッバースは投票の35%、ハニエは58%を獲得します(56%と比較して)ハニエの場合、3か月前のアッバースの場合は34%)。ガザ地区では、アッバースの投票率は33%(3か月前の34%と比較)、ハニエは64%(3か月前の61%と比較)であり、ヨルダン川西岸のアッバースは37%(33と比較)です。%3か月前)およびHaniyeh 52%(3か月前の52%と比較して)。しかし、マルワン・バルグーティとハニエの競争の場合、参加率は65%に上昇し、その中でバルグーティは57%、ハニエは38%を受け取ります。ムハンマド・シュタイエとイスマーイル・ハニエの競争の場合、参加率は52%にとどまり、その中でシュタイエは33%、ハニエは59%を受け取ります。3か月前、シャタイエ首相は31%、Haniyehは60%を受け取りました。

アッバース大統領が選挙に立候補しない場合は、マルワンバルグーティが優先候補者であり、35%が彼を選び、次にイスマーイルハニエが20%、次にムハンマドダーラン(5%)、ヤヒヤシンワーが4%、次にハレドマシャールとムスタファバルグーティが続きます。それぞれ3%で、次にサレム・ファイヤドで2%です。

アッバース大統領の業績に対する満足度は26%、不満足度は71%です。ヨルダン川西岸地区のアッバースに対する満足度は27%、ガザ地区の満足度は25%です。3か月前のアッバース大統領への満足度は24%、不満は73%でした。74%が大統領の辞任を望んでいると述べ、21%が大統領の辞任を望んでいないと述べています。半年前、78%が大統領の辞任を望んでいたと述べた。大統領の辞任の要求は、西岸地区で73%、ガザ地区で77%です。

2006年の選挙に参加したすべての政治勢力の参加を得て本日新しい議会選挙が行われた場合、67%が参加する

と回答し、これらの参加者のうち、ハマスに関連する変更および改革リストは38%、ファタハは35%を取得します。および2006年の選挙に参加した他のすべてのリストは、合計9%であり、18%は、誰に投票するかをまだ決定していないと述べています。3か月前、ハマスの投票率は37%に達し、ファタハの投票率は32%に達しました。ガザ地区のハマスの投票率は47% (3か月前の47%と比較)、ファタハの投票率は29% (3か月前の27%と比較) です。ヨルダン川西岸では、ハマスの投票率は30% (3か月前の28%)、ファタハの投票率は40% (3

か月前の38%) です。

イスラエルとハマスの対立に照らして、最大の割合(34%)は、ハマスが今日のパレスチナ人を代表し指導するのに最もふさわしいと述べていますが、アッバース大統領が主導するファタハ運動はより価値があると答えているのはわずか23%です。36%の割合は、どちらも代表とリーダーシップに値しないと述べています。3か月前、45%がハマス、19%はアッバース大統領が率いるファタハであり、28%はどちらも代表とリーダーシップに値しないと述べた。



石の蜂起 34 周年：巨大な民衆の成果

石の蜂起 34 周年:巨大な民衆の成果、惨めな政治的投機、そして、宣言された目標への裏切り

2021年12月11日投稿 (PFLPのホームページより)

我がパレスチナ民衆は、インティファダ (1987年から1993年) の34周年を、誇りと活力をもって祝う。パレスチナ革命の開始以来、64年のパレスチナ解放機構 (PLO) の設立以来、最も高名なインティファダとしてあった。抵抗の共振と行動は、すべてのメディアで毎日繰り返された。そして、外国語では、翻訳なしでアラビア語名前が採用された。しかし、インティファダの記念日に言及しなければならないことは、多くのパレスチナとアラブの歴史家と研究者がそれを無視している。彼らは、パレスチナ民衆が、巨大な闘争能力と彼が払った膨大な犠牲の観点から記録をしているだけです。開始以来の目標である占領を取り除き、民族の目標を達成する

ための犠牲であったにもかかわらず、インティファダで我が民衆が望んでいたものと完全に矛盾する政治プロジェクトの枠組みに終息されたという事実です。

世界を驚かせたこのインティファダの発火点は、1987年12月8日に、イスラエルのトラック運転手が、エレツ (ベイトハヌーン) 検問所で、パレスチナ労働者のグループを轢いたことで、西岸、ガザのすべての都市、村、キャンプに怒りが広がったという事実にあった。しかし、インティファダの本当の原因は、パレスチナ民衆の占領と入植地の拒否であり、エルサレムを併合する手続きへの拒否であり、抑圧的な殺害、追放、息子、娘たちの拘束、経済的な制約への拒否である。すなわち、敵との紛争は、クライマックス、”危険な地点”に達していた。加えて、パレスチナ民衆は、82年のシオニストのレバノン侵攻のあと、祖国のパレスチナ民衆と民族主義勢力は、ベイルートから諸党派の撤退後、PLOの困

オリープの会通信 第14号(通巻20号)

難を取り除こうとした。

5年間継続した根拠のひとつは、PLOの諸党派、民族主義人士が、デモ、ストライキ、市民不服従、怒りの日々、敵の兵士や入植者の群れへの石や火炎瓶の投てきなどの闘争をプログラムするための統一指導部を形成したことである。そして、そのアプローチと目標にパレスチナ民衆が団結していたことである。それに様々な社会グループのパレスチナ民衆がかかわった。そして、それは、その地理的、人口学的、包括的な階級によって性格づけられた。

統一司令部は、蜂起のための多くの目標を設定した。その最も特徴的なものは、

- 1, エルサレムをその首都とする独立したパレスチナ国家の樹立とパレスチナ人の自決を勝ち取ることである(それは、国連決議242号とシオニスト国家の承認に言及していない)
- 2, 入植地の撤去
- 3, 難民の無条件の帰還
- 4, パレスチナ人とアラブ人の獄中者のシオニストの監獄からの解放

蜂起の成果とその政治的裏切り

石の蜂起は、以下のような分野、政治レベルで大きな成果を上げました。

- 1, この蜂起は、占領軍の士気に根底的な打撃を与えた。それは、インティファダの子供たちによって、6年間の間、ヒットアンドランの終わりのない戦闘で、都市や村の路地に引きずり込まれた。そして、イスラエルの軍事指導者は、パレスチナとの紛争に軍事的な解決はないという確信に到達した。
- 2, それは、前例のない分野で、パレスチナ民衆とその諸党派、社会勢力をインティファダの統一指導部によってプログラムされた恒常的な闘争の枠内での団結を達成した。
- 3, それは、シオニスト国家の最大の国際的な孤立と最大のアラブと国際的民衆の1948年以来のそのゴールに結集することを達成した。

しかし、この蜂起は、前述の目標、その一部も達成

することができなかった。そして、それが開始されたときのゴールの達成のために政治的な投資がされなかった。むしろ、それとそれを達成するための膨大な犠牲を裏切った。それは、殉教者の数が、1162人に達し、そのなかには、241人の子供が含まれ、そして、約9万人が負傷した。6万人以上のパレスチナ人が逮捕された。1228戸の家が破壊されたことは言うまでもない。

蜂起と我が民衆の犠牲はインティファダとそのゴールと関係のないイニシアチブとプロジェクトが提示されることで裏切られた。これに関して以下の点に注意してください。

1, 1988年11月12日から15日に開催された第19回パレスチナ民族評議会(PNC)によって発表された政治的イニシアチブ、それは、明確に、シオニスト国家の承認を保証する国連安保理決議242号の承認を含んでいた。それには、パレスチナ民衆がそれを受け入れるまでそのイニシアチブを促進するために”自決権”が加えられていた。

2, このイニシアチブの屋根の下で、機構の影響力のある指導部とスウェーデン外相、”スティーブ・アンダーソン”によるアレンジで、1988年11月、12月にアメリカのシオニストの指導者の大規模な代表団との会議が進められた。それが、シオニスト国家の承認とテロ(レジスタンス)の放棄を保証した

3, 1988年12月13日ジュネーブの総会でのアブアンマールの演説は、アメリカ政府に通知し、その承認を示した後に行われた。それは、ストックホルムでシオニストの指導者たちとの合意に達していたものが含まれていた。

特筆すべきは、機構の指導部は、米国政府が機構との対話を開始することをうけいれることだけの見返りにすべての妥協を行ったことである。それは、駐チュニジアアメリカ大使ロバート・ペレトローと機構の代表ヤセル・アブドラボとの会談を開始することを指示したことであった。

4, アブアンマールは、ジュネーブでの演説のあと、すぐにフランスに行き、フランス大統領ミッテランと会談した。アブアンマールは、フランス外相ロナルド・ドマスの要求にこたえた。それは、ミッテランにアメリカに示したのと同じような何かを提供しなければならないと

いった。彼はアラファトにパレスチナ民族憲章をキャンセルすることを提案した。機構のパリ事務所の所長であるイブラヒム・アル・ソウスにキャンセルというフランス語は何かと聞き、それは”カドック”であると言った。アブアンマールが、憲章について「憲章はカドック」であると発表した記者会見があわただしく準備された。

そして、もっとも危険な展開は、インティファダの打ち切りであり、機構の指導部は、1993年のオスロ合意の署名することに頼りました。それは、石の蜂起はオスロ合意に埋葬されたということができる。それは、その内容と影響は、パレスチナの大義を清算する最も危険なプロジェクトを構成している。それは、バルフォア宣言についての危険性に触れていず、彼の約束がふさわしくない所有者によって与えられ、オスロ合意が、ふさわしくないこれらを所有するものに与えられた。

総括：1948年のナクバ以来、前例のないインティファダは、ほとんどのその目的、主要には、占領打ち破り、自決権を実現することを達成することに向かっていた。加えて多くの他のゴール、入植地の撤去、イスラエル経済への依存を破るためのパレスチナ経済の準備、パレスチナ人獄中者の解放など。敵がそれに対してうんざりしていたあと、ラビンが、”ガザを海まで到達させよう”と言って、彼が消えることを表明した後、かれのすべての弾圧手段が、インティファダを止めることに失敗した後、最も重要なことは、その骨を砕くことだった。しかしながら、前述の妥協に代表される機構の指導部の政治的アプローチは、これらの目標を達成することを阻止した。それは蜂起の流産につながった。



2021年11月29日に投稿 | 14:14 (PFLPのホームページより)

驚くことではないように思われる動きで、イスラエル政府は、エルサレム市の計画および建設部門によって承認されたものを承認しなかったことを米国政府に通知しました。ベネット政権の決定は、特に東エルサレムにアメリカ領事館を開くというアメリカの公約の文脈において、テルアビブとワシントンの間の多くの未解決の問題に関連していたので、驚くべきことではありませんでした。このファイルに関するバイデン政権の誓約は、世紀の取引の文脈でトランプの地図と変わらないことがわかっているなら、この地図が発表されたとき、それはパレスチナの領土を2分し、東エルサレムにパレスチナの

首都を提供するようになったからです。アメリカが誇らしげに大使館を開く、つまり、世紀の取引の文脈でのトランプ政権は、東エルサレムに領事館を含むアメリカ大使館の開設に言及していましたが、これはトランプの地図は完全に使用されていると主張しながら東エルサレムにアメリカ領事館を開設するというバイデンの約束よりはるかに小さいものです。

前述のベネット政府の決定に戻ると、それは、特に予算が議論された場合の政府の崩壊の脅威に照らして年間予算の通過を容易にするためのバイデン政権による繰り返しの遅延の後、エルサレムのアメリカ領事館の開設が非常に近いというイスラエルのチャンネル24への高官の公式情報源による主張と平行しています。領事館の開設と並行してクネセトで、そして今、予算ファイルを克

服することにベネット政府が成功した後、バイデン政権の約束が危機に瀕しているの、この点でアメリカの決定が近づいていることについて話し合おうでしょう。この決定と引き換えに領事館の開設の別の新たな延期の要求と並行して、カランディア空港の土地での入植地を承認しないとベネット政府が決定を下しました。

最近、そして占領下のエルサレムでの緊張の高まりとともに、特に最近のガザストリップでのイスラエル戦争の後、米国政府は占領下のエルサレムでの領事館の開設が単なる約束ではなく、外交上の必要性になっていると感じています。なぜなら、直接的な方法でこれらの緊張に照らして何が起きているかを追跡する能力が必要になり、領事館の存在は、イベントとその主要な当事者、特にパレスチナ側と直接接する可能性があるからです。占領下のエルサレムでアメリカ大使と取引することを絶対に拒否しますが、領事館の開設は、エルサレムのアメリカ大使館を閉鎖し、トランプが取引する前の場所テルアビブに戻すというパレスチナの要求に照らして、最小限であると考えられていることを思い出させます。

実際、バイデン政権は、東エルサレムに大使館を開設するというこの誓約の文脈に置かれ、ベネット政府を脅迫する立場にありました。これは、この誓約を実施するための明確な日時の上限を設定しなかったためです。イスラエル政府を恐喝する方法ですが、違いの明確さからこれも可能になりました。このファイルに関するイスラエル政府のさまざまな大臣、特に大統領と外務大臣の

違いの明確さから、後者はブリンケン米国務長官に次のように誓約しました。予算が通過した後、領事館の開設を促進するが、米国務省は、ラピッドが誓約を撤回した後、ブリンケンを欺いたことを示した。これらのサークルでは、バイデン政権はイスラエル政府との合意なしに一方的に領事館を開設することができる、これは、法的小よび実用的な観点からは非常に難しいかもしれませんが。

エルサレムにアメリカ領事館が存在することは、イスラエルの観点からこの領事館が存在することが始まりを構成する可能性があるという事実に加えて、ヘブライ国家の首都としての統一エルサレムに対するイスラエルの主権の主張に疑問を投げかけるでしょう。アメリカが後援し、イスラエルが反対した二国家解決の文脈でエルサレムにパレスチナの首都が存在する場合、この場合の領事館は、そのすべての認識された機能を備えた大使館であるかのように機能します。したがって、イスラエルによれば、占領下のエルサレムには2つのアメリカ大使館があり、これは非論理的であり、外交規範に準拠していません。

比較的この文脈の外では、イスラエルへの大使の認定は占領下のエルサレムにあるイスラエル大統領の本部の国家元首によって行われるため、すべてのアラブ正規化国は暗黙のうちにエルサレムをイスラエルの首都として認識しています。



人民戦線の創立 54 周年に敬意を表す

出発の 54 周年、わたしは、先駆者を呼び起こします。私は、思い出すとは言いたくない。なぜなら、彼らは、心と精神の中に生き続けているからです。

彼らは思想を持ち、それらを現実に伝えた。その現実、政治闘争、人民闘争、組織された革命的暴力です。最も信頼できる協会から、民族主義的思想をこれらの人々は開始した。それは、アラブ民族主義運動、復讐の

若者、帰還の英雄を通して、この日に、一つの政治、闘争のフレームワークで偉大な指導者であり殉教者アハマド・ジブリルが、率いるパレスチナ解放戦線の同志たちとナザレ出身の多くの組合幹部とともに創設した人民戦線に至る。残念ながら、そして、その単一のステップは、創設の数ヶ月で失敗し、パレスチナ解放人民戦線・総司令部派の発足を目撃することになり、パレスチナ人民戦

線の経験の歴史的延長とアラブ民族主義運動の指導者で、賢明なジョージ・ハバッシュに率いられたパレスチナ解放人民戦線の生存と継続とで離別した。

入り口、

政治闘争、戦闘組織としての人民戦線の設立を発表することの重要性にも関わらず、運動によってはじめられたアプローチの継続性をもう一度強調する機会です。ここに、我々は、アラブ民族主義運動パレスチナ支部の最初の殉教者、復讐の若者”ハレド・アブエイシャ“を思い出します。彼は、アッパー・ガリリーの偵察と地域の調査の指名で、1964年2月11日に、レバノンとパレスチナの国境にある”アダムス”地域で、シオニスト占領軍の軍事パトロールとの衝突で、殉教者となった。宣言の前の戦闘の道を完全に思い出すために、運動のパレスチナ支部と“帰還の英雄”組織が、占領下パレスチナ内で偵察と戦闘作戦を実践しました。これは、ゲリラたち、ムハマド・アルーヤマニの二人の殉教した兄弟で構成された戦士のグループによって実践されたことで確認された。

そして、それは、血と魂をささげた、また、拷問の房、殉教者、生存者で不在など、また、占領軍の治安と諜報、通報者によって、監視され、追われた厳しい条件の中で実践をした指導者たち、創設の幹部たちにまで拡張することはできない。義務は、我々が、誇りと栄誉の直接的あいさつを殉教者に、それは、解放された祖国へ向かったビーコンであるそして、ジョージ・ハバッシュ、ワディ・ハダト、シャディア・アブガザレ、ガッサン・カナファニ、バーセル・アルクバイシ、ファイズ・カドウーラ、ファイズ・ジャベール、ゲバラ・ガザ、ムザッファール”ガッサン・カナファニ“の名前を関した作戦、1974年の創立7周年でテルアビブのコロニーのヘイン映画館内での作戦の殉教者—ガッサン、ウダイW…数千人”。抑圧の地下牢の不動の英雄たち、“アハマド・サダト、ワリッド・ダッカ、カミル・アブハニシュ、アヘド・アブミゲル、マジディ・アルーリマウイ、ハムディ・アルカラン、バジル・アルーアスマル、サメル・アルーアルビード、ワリド・ハナツエ、カセム・アルーバルグティ、バシル・アルーハーリ”そして、その殉教者—伝説、反抗的、殉教のポイントへのタフさ、「イブラヒム・アルライ」、そして過去数十年にわたってシオニスト刑務所を知っている何千人もの戦士たち。

今日、50年以上が経過し、沢山の業績と数千人の殉教者、負傷者、獄中者の行進は、人民戦線の存在、政治的と戦闘性の両面で、パレスチナ民族解放運動で、アラブ世界全体で、国際的進歩的解放運動の中で、最も著名で基本的な力の一つとして確認されています。この存在は、我々が知っている知的 / 理論的貢献、広く / 人民組織の拡大、内部党のコミットメント / 規律、その複数の兆候における民主主義、そして最も重要なことは、組織された革命的暴力、フロントが 最初の声明いらいコミットしてきたものであり、帝国主義への抵抗のツールのこの形式に特別な段落に貢献してきました。そしてシオニズム対して、「歴史があらゆる形態の植民地侵略を粉碎し、人民大衆に彼らの意志と利益に従って彼らの未来を形作るための主導権を与えるための最も効果的な武器であることが証明された武器」を持っています。1972年5月30日、それは、国際ゲリラ岡本公三とその仲間たちが実行し、1976年6月27日、ハッジ・ファイズ・ジャベールとその仲間たちが実行した「エンテベ空港」作戦、繰り返しのハイジャック作戦。民族主義戦線と運動の行進でユニークな英雄的な作戦は、2001年10月17日に占領下のエルサレムの街のホテル内で犯罪者「レハバム・ゼエビ」を直接的かつ迅速に処刑することを含んでいます。2001年8月27日、戦線の書記長である殉教者の指導者「アブ・アリ・ムスタファ」の占領軍による暗殺に対応し、組織のメンバーとサポーターに対して抑圧と迫害の条件の中で、この痛みを伴う敵への打撃を条件で実行する組織の優れた能力をもう一度確認しました。戦線は、それが祖国の土壌の深さ、そして人々と民族の心と良心に埋め込まれているため、壊れることがなく、根こそぎにされていないことを証明しました—そして今でもそうです—。

発展のための感動的教訓

この民族的闘争の機会に、そして戦線の創設を祝う雰囲気の中で、民族書記局は、この著名な闘争組織を確保する上で、成果と勝利について話すことに加えて、落とし穴と失敗の前で立ち止まる必要があります。そしてこれには、イベント / 機会を内部 / 党派、そして人民対話ワークショップ / エリート主義を変えていくことが要求されています、以下のことを議論する必要があります：

オスロ合意の結果と現場でのその悲惨な適用に照らして多くの人にとって「曖昧」になっている戦線の基本的な立場、特に現時点では、「分割、または分類、調整、および国民の統一」の問題、

- 占領者の抑圧と権力の乱用に直面して、彼らに保護を提供し、彼らの戦士のための安全傘を形成するための、占領された国の内外での革命運動における人民の状況、特に若者の状況

- 占領軍と障壁との交戦を進展させ、ホットスポット「ジャバル・サビー-ベイタ、占領下のエルサレム市の近隣と広場、アル-アクサモスクの中庭と諸門、1948年以來占領された故郷の内部「リダ、ラムラ、ハイファ」ヤッファ、マジダルクルム、ナザレ、そして数十の村や町で人民民族闘争の発展と強化に取り組む」、

- 戦線の内部状況、そして知的生活の活性化と草の根と幹部のイニシアチブは、官僚主義と化石から離れて「千本の花を咲かせ」、新しい血を注入するために、革命的な仕事に取り組み、テストされました。来年の第8回民族会議の開催に向けた準備は、特に2013年後半に開催された第7回議会から8年が経過した後、正しい方向への正しい一歩であるように思われます。

アラブ世界の政党と解放の力との共同同盟の経験における前線の役割を議論し、敵の前線に直面した民族の息子の団結によってその歴史的重要性が課せられた：帝国主義、シオニズム、反動 特に、「正常化」の犯罪を超えて同盟に至るまでの公式のアラブシステムの一部が急いでいるが、それは、むしろシオニストとアメリカの敵との完全な合併である。したがって、アラブの共同大衆行動の枠組みを開発し強化するために再作業し、その現代版、「アラブ進歩戦線」は緊急の民族的課題となっています。

結論

この記事を終らせるために、戦線の創設声明、その結論を引用します - 敬礼：

燃え上がる土地の農民たち：貧しい人々、不屈で、私たちの町や村、悲惨なキャンプにある、あなたの前に抵抗以外の道はありません。それ以外選択の余地はありません。そして毎日の戦うことです。

パレスチナ日誌

11月1日

- ・アメリカの爆撃機がエジプト、サウジ、イスラエルの護衛で、この地域を飛んだ。
- ・ハーンユニスに占領軍機甲部隊の限定的な侵攻
- ・西岸で、釈放された獄中者と大学の講師を含めて逮捕された。
- ・ベネットは、米国領事館を開設を阻止する法案の討議を延期した。
- ・ガザのコロナ、6人死亡、241人の新たな感染者
- ・サウジアラビアは、正常化の前にパレスチナ国家創設の条件を尊重する。
- ・外務省は米国政権に領事館を開設し、扇動的なキャンペーンに閉じるように呼び掛けた
- ・10月の間、占領軍は、9人のジャーナリストを逮捕し、他の15人を負傷させた。
- ・ワクフ：アルアクサに22回の侵攻、アル-イブラヒミで52回アザンを阻止された。
- ・ガンツは、3000人のパレスチナのハイテック労働者を導入することを推奨した
- ・ポリビアは、イスラエルの西岸に新たな入植地を建設するという決定を非難した。
- ・200人の共和党議員が、バイデンに、エルサレムに領事館開設しないように呼び掛けた。

11月2日

- ・パレスチナのコロナ、5人死亡、337人の新たな感染者
- ・ガザのコロナ、4人死亡、217人の新たな感染者
- ・バルフォア宣言の記念日に、諸勢力と諸党派は、英国にパレスチナ人に謝罪するように呼び掛けた。
- ・占領軍は、イドナとアル[^]ファワラキャンプの二人の市民を逮捕した。
- ・イランとのあらゆるシナリオへの準備：米国のエリート部隊がイスラエルに到着した。
- ・ヘブロン、占領軍は、西側外交官が、シュハダ通りに近づくのを妨害した。

11月3日

- ・占領軍は、シェイク・ジャラの人々を攻撃し、力で、近隣のテントを空にした。
- ・ヘブロンで、青年が占領軍に銃撃され負傷し、他の人々とともに逮捕された。
- ・占領軍が、ナブルスを急襲したとき、青年が占領軍の銃弾で、負傷し、数十人が窒息した。
- ・イスラエルのミサイルがダマスカス郊外の地域を攻撃した。
- ・西岸での搜索と逮捕

- ・ガザでハンスト中の獄中者と連帯する座り込みが行われた。
- ・占領当局は、カフル・アデーティックの建設作業をやめるように通知した。
- ・米国は、オマーン湾で、イラン石油輸送船への海賊行為の企てを阻止した。
- ・占領当局は、ヤッタの南東の家を解体した。
- ・ガザのコロナ、2人死亡、183人の新たな感染者
- ・ミサイルの監視のため、占領軍は、先進的な飛行船を、レバノン国境に展開した。
- ・UNRWAはオリーブの収穫期に、難民の農民を支援した。
- ・米国は、二社のイスラエルのスパイ会社をバラックリストに載せた。
- ・ハーンユニスの自治体は、ハーンユニスの虐殺56周年を記念した。
- ・ティール：占領当局は、殉教者を記念した墓地を庭に変えた。
- ・イスラエル政府は、ネゲブの3つの村の承認とベドウィン年を創設することへの投票を行った。
- ・占領軍は、スリフを急襲し、市民とその妻を逮捕し、衝突が起こった。
- ・入植者たちは、ジェニン-ナブルス道路で、車を攻撃し、道路をブロックした。

11月4日

- ・パレスチナのコロナ、8人の死亡と300人の新たな感染者
- ・マダ：10月に、メディアの自由に対する28の攻撃があった。
- ・占領軍は、岩のドームを急襲し、修復工事をとめた。
- ・ガザのコロナ、4人死亡、201人の新たな感染者
- ・米国は、新たな駐イスラエル大使を指名
- ・イスラエルの裁判所は、入植者たちに、イブラヒモスクのランドマークの変更を許可した。

11月5日

- ・パレスチナ系のアメリカの会社が、イスラエルボイコットを罰する法の廃止をよびかけるために立ち上がった
- ・数千人が、アルアクサとイブラヒモスクで、夜明け前の礼拝を行った。
- ・占領軍は、スリフで、2人の青年を逮捕した。
- ・デール・アルハタブで、占領軍に青年が銃撃され、重症に
- ・ナブルスの東で、占領軍によって、子供が殺された。
- ・カフル・カッダムの衝突をカバーしていたジャーナリストが負傷した。
- ・占領軍は、シリアから国境を越えてきた二人を逮捕した。
- ・カフル・カッダム村の人々は、入植者たちを追い返し、オリーブを盗む企てをつぶした。
- ・パレスチナのコロナ、7人死亡、277人の新たな感染者。
- ・ガザのコロナ、5人死亡、192人の新たな感染者

- ・ヘブロンで、占領軍と衝突で、市民が窒息した。
 - ・ジャバル・サビとベイト・ダジャンの衝突で、71人が負傷。
 - ・国連のコンセンサスは、我が人民の自決権にある。
 - ・アルビレ市での占領軍との衝突で、青年が負傷した。
- 11月6日
- ・ジャバル・サビとベイトダジャンの衝突で71人が負傷
 - ・占領軍は、ラマラ近くで、軍事拠点に銃撃されたと占領軍が発表。
 - ・ハマスは捕虜交換交渉で占領当局は、適切な案を出してこなかったと明らかに
 - ・パレスチナのコロナ、4人死亡、115人の新たな感染者
 - ・モロッコは、イスラエルから防空システムを購入する準備をしている。
 - ・ガザのコロナ、4人死亡、82人の新たな感染者
 - ・入植者は、スシヤの子供公園を攻撃した。
 - ・占領軍は、ジェニンの3人の市民を逮捕した。
- 11月7日
- ・占領当局は、エルサレムの北のカタナの町の市民を逮捕した。
 - ・ベネット:我々は、パレスチナ人のために米領事館を開くのを拒否する。そして、これが交換協議の私の立場である。
 - ・ヤッタの東への入植者たちの攻撃で、3人の市民が負傷した。
 - ・ガザのコロナ、4人死亡、101人の新たな感染者
 - ・占領当局は、ヨルダン渓谷の施設を取り除き、解体し、没収した。
 - ・ラマラの占領軍との衝突で、2人が銃撃で負傷し、一人は重傷
 - ・パレスチナのコロナ、8人死亡、198人の新たな感染者
 - ・高齢のパレスチナ人の女性が、カランディア検問所で、ナイフを所持していたという容疑で、逮捕された。
- 11月8日
- ・ベイト・ウマルで、占領軍に子どもが銃撃された。
 - ・ヘブロンで、獄中者を支援するスタンディングが行われた。
 - ・6人の被拘束者が、ハンストを継続している。
 - ・ガザのコロナ、3人死亡、159人の新たな感染者
 - ・デジタル監視、兵士たちが、西岸のパレスチナ人たちの顔をフィルムにしている。
 - ・西岸で、数件のシュミレートしたシナリオで、集中的なイスラエル軍の演習が。
 - ・イスラエルは、アフリカで、イラン人によるイスラエル人への攻撃を防止した。
 - ・占領軍のボートが、ラファ、ハーンユニス、北部ガザで、漁師を標的にした。
 - ・占領当局は、ラマラ市を急襲し、対峙に
 - ・ベガス経由で、イスラエルはパレスチナ人活動家たちの電話をスパイしている。
 - ・パレスチナのコロナ、7人死亡、260人の新たな感染者
 - ・10月に、占領当局は、42件のパレスチナ人ジャーナリストに対する侵害を行った。
 - ・ヘブロンで、7軒の家の建設を停止を通知した。
 - ・占領軍は、ヤバトの獄中者、ナジム・アバカルの家を急襲した。
 - ・占領軍は、ハマスのミサイルを迎撃したと発表
- 11月9日
- ・イスラエルのシリアへの爆撃で、2人の兵士が負傷
 - ・占領当局は、タルクミヤで二つの農業小屋と鶏舎を解体した。
 - ・イスラエルは、米国政府に、NSOへの制裁を解除するように説得している。
 - ・パレスチナのコロナ、6人死亡、237人の新たな感染者
 - ・複数のNGOは、占領当局のパレスチナ6団体のテロリスト規定を無効であることを確認した。
 - ・イラン軍は、領空を侵害したアメリカのドローン2機を迎撃した
 - ・イスラエル軍参謀長:我々は、イランの核施設への可能な攻撃の準備に集中している。
 - ・国連;2週間の間に22軒の建物を解体または、没収した。
 - ・トルカラムで、ハンストを支持するスタンディングが行われた。
 - ・パレスチナの団体は、職員の話へのハッキングについて、国際的な操作を呼びかけた。
 - ・ガザでイスラム聖戦が、ハンストの獄中者を支援するスタンディングを組織した。
- 11月10日
- ・学生とパレスチナ連帯活動家がロンドンで、イスラエル大使を追い出した。
 - ・ヘブロンで、イスラエルのトラックに銃撃
 - ・西岸で、釈放された獄中者を含んで逮捕が行われた。
 - ・占領軍は、ベツレヘムの西、フサンで、青年を銃撃し、他の人々を逮捕した。
 - ・ガンツ:我々は、ヒズボラがイスラエルを傷つけ、イランに対する戦争に脅威を与える武器を持つことを許さない。
 - ・ガザで、UNRWAへの基金のカット、条件などを拒否するデモが行われた。
 - ・カルキリヤで、ハンストに連帯するスタンディングが行われた。
 - ・ガザで、占領当局が、NGOをテロリストに規定する決定に反対する大規模なデモ

- が行われた。
- ・イスラエル軍の将校:次のガザとレバノンとの戦闘は、ドローンの間で行われるだろう。
 - ・パレスチナのコロナ、4人死亡、221人が新たな感染者に。
 - ・イスラエル軍が市に展開したことで、ウム・アルハムで怒り
- 11月11日
- ・ヤッタの東、ハレット・アルダアバでの入植者の攻撃で、5人の市民が負傷した。
 - ・占領軍は、西岸で8人の市民を逮捕した。
 - ・アラファトの殉教17周年
 - ・ガザのコロナ、3人死亡、138人の新たな感染者
 - ・パレスチナのコロナ、6人死亡、225人の新たな感染者
 - ・48年領内のアルサラ・アルハリシヤの町で3人の市民が逮捕された。
 - ・アラファトの殉教の記念日、ベイト・ウマルでの学生の行進の後、窒息者が
 - ・占領当局は、ヘブロンで、車のガレージを解体した。
 - ・西岸での殉教者アブアンマルを記念した活動で、弾圧と負傷者
 - ・アルビレでの、占領軍との衝突で、数十人が負傷した。
 - ・占領軍は、ミタル検問で、73人のパレスチナ人を逮捕
 - ・ガザでも、アラファト殉教17周年の記念式典が行われた。
 - ・ガルフへの飛行で米国の爆撃をイスラエルの戦闘機が護衛した。
 - ・9月に、9000人の入植者がアルアクサを急襲した。
- 11月12日
- ・イスラエルで、電子ビーコンを使った新たなミサイル迎撃システム
 - ・初めてのUAE、バハレーン、イスラエル、アメリカの共同海上演習
 - ・占領軍は、ベツレヘムで3人の市民を逮捕
 - ・ベネット:我々は「過激なイスラム」と闘っている
 - ・イスラエルは、新たな戦線への勢力の展開のために、アラブの町から立ち去ろうとしている。
 - ・金曜礼拝をツルの町の破壊の脅しを受けている建物の前で行った。
 - ・アメリカの国連大使は、二国家解決が地域の平和を保証する唯一の道である。
 - ・パレスチナのコロナ、4人死亡、247人の新たな感染者
 - ・ベイトウマルの南の農地を更地にし、樹木を根こそぎにした。
 - ・トルコの裁判所は、スパイ容疑のイスラエル人カップルの拘束を20日延長する決定を行った。
 - ・ベイトとベイトダジャンで83人の負傷、ナブルスで衝突
 - ・ジェニンで、440本のオリーブの木が燃えた
- 11月13日
- パレスチナのコロナ、4人死亡、90人の新たな感染者
- ・ピース・ナウ:入植者の攻撃は、西岸で住民を追い出す公式の戦略の一部である。
 - ・ガザのコロナ、一人の死亡と53人の新たな感染者
 - ・エルサレムのラサアルアムドの近隣への入植者の攻撃で3人が負傷した。
- 11月14日
- ・ガザの抵抗勢力が、数発のミサイルを海に向けて発射した。
 - ・5年間で、西岸の2万1千ドナムを入植者によって奪われた。
 - ・ガリリーで、占領軍が大規模な演習
 - ・西岸で複数の逮捕
 - ・イスラエルの将軍は、軍内での深刻な欠陥を明らかに
 - ・占領軍は、カバティアの青年を逮捕
 - ・占領軍は、力でパレスチナ人の尋問を行うことを禁止した。
 - ・イスラエルの国家治安アドバイザーが、エジプトの諜報機関のチーフと会談した、
 - ・ガザのコロナ、3人死亡、75人の新たな感染者
 - ・イスラエルでエチオピア人コミュニティ数千人が、エチオピアのユダヤ人の帰還要求してデモ
- 11月15日
- ・イスラエル:首相として、8年の任期を承認
 - ・ガザのコロナ、6人死亡、146人の新たな感染者
 - ・独立宣言33周年
 - ・占領裁判所は、シェイク・ジャラの家から家族を追い出すための訴訟を検討している。
 - ・ベネットは、イランへの米国特使をボイコットした。
 - ・トルコは、エルサレムへの団体旅行を再開
 - ・サルフィットの西で、広範なエリアが更地にされ、木が根こそぎにされた。
 - ・占領当局は、ヘブロンで、市民を逮捕し、2台のビルセルを没収した。
 - ・ナブルスの西で、入植者の攻撃で、3人が負傷し、複数の車が破壊された。

オリーブの会通信 第14号(通巻20号)

- ・シェイク・ジャラの家から、アルーサライメー家を退去させる決定が延期された。
- ・イサウイヤ、解体通知と3人の兄弟の逮捕
- ・パレスチナのコロナ、7人死亡、236人の新たな感染者。150人が回復

11月16日

- ・ベネット：国連は、イスラエルに対して、偏見をもっている。
- ・ペンタゴン：イランのヘリコプター機がオマン湾で、米国の軍艦に接近した。
- ・占領軍は、中央ガザで、農地に向かって発砲し、催涙弾を発射した。
- ・ベツレヘムで、ハンストに連帯するスタンディングが行われた。
- ・パレスチナで3人死亡と87の新たな感染者
- ・ガザのコロナ、2人死亡、23人の新たな感染者

11月17日

- ・占領当局は、アズン・アトマ村の入り口の一部を土で閉鎖した。
- ・占領軍は、ラス・アムドの家を解体するようにエルサレム人を強制した。
- ・ガザのコロナ、1人死亡147人の新たな感染者
- ・北部ガザで、占領軍は漁師を標的にした。
- ・イスラム聖戦：5年間の占領軍との停戦は、全面的に拒否する
- ・ナブルス：学生の間で窒息者
- ・占領軍は、西岸で14人のパレスチナ人を逮捕した。
- ・占領軍の戦闘機がダマスカスを爆撃
- ・パレスチナのコロナ、3人が死亡、252人の新たな感染者
- ・占領軍は、エルサレムで、2人の若者を逮捕した。
- ・ガリリーとジェニンでイスラエル軍は新たな演習を行っている
- ・ガザの諸党派は、占領下エルサレムでの刺殺作戦を譏えた。
- ・占領軍は、殉教者アブサブの家を急襲し、彼の両親と兄弟を逮捕した。

11月18日

- ・トルコ当局は、一週間の拘束の後、イスラエル人のカップルを釈放した。
- ・西岸での複数の逮捕
- ・4日連続の衝突、ナブルスの南で、入植者たちが学校を閉じようとしている。
- ・カタールとエジプトは、ガザのための燃料供給と建設資材の供給で合意にサインした。
- ・イサウイヤでの衝突と木曜日に全面ストを行う。
- ・アルーアルウブキャンプの入り口で占領軍との衝突で、窒息者
- ・シンベトは、ガンツの家で、イランのスパイを逮捕したと発表。
- ・パレスチナのコロナ、3人死亡、221人の新たな感染者
- ・ガザのコロナ、2人死亡、118人の新たな感染者
- ・ハマスは、占領当局が省庁をエルサレムに移すと決定したことを非難した。
- ・カルキヤー入植者の会社が250ドナムの土地を占拠する企てを止めた。
- ・フィンランドの議員が、イスラエルの入植地をボイコットする法律を提出した。

11月19日

- ・人民戦線：我々は、オスロ合意に基づくどのような政府にも参加しない。
- ・国連は、イスラエルに8億5600万ドルの賠償をレバノンに行うように呼び掛けた。
- ・英国は、ハマスをテロリストと宣言し、支持者は10年の禁固に
- ・イスラム聖戦は、英国のハマスへの決定を非難した。
- ・カフル・カッダムの行進への占領軍の弾圧で、銃撃と窒息で負傷
- ・PFLPも英国の決定を非難
- ・3回目の金曜礼拝が、解体の脅威にさらされているアルーツールビル前で行われた。
- ・ハマスも英国の決定にコメント
- ・シェイク・ジャラで、入植者たちが、外交官の車両を含む13台の車のタイヤを破壊した。
- ・ガザのコロナ、一人死亡、117人の新たな感染者。
- ・イスラエルは、英国の決定に感謝した。
- ・占領軍は、サルフィットの西を鉄の門で閉じて、市民の移動を妨害している。
- ・アル・イサウイヤの町で、占領軍と衝突した。

11月20日

- ・ヨーロッパの当局者：イスラエルは、パレスチナの団体がテロリスト結びついているという証明をしていない。
- ・夜に、西岸とエルサレムで衝突、負傷者が出た。
- ・ガザのコロナ、一人死亡、55人の新たな感染者。
- ・国際子どもの日—今年の初めから15人が殺害され、1149人が逮捕された。
- ・パレスチナのコロナ、一人死亡、93人の新たな感染者
- ・アルイサウイヤの町で占領軍との衝突

11月21日

- ・人民戦線は、エルサレムの闘いを賞賛し、レジスタンスが最良の選択とした
- ・ガザのコロナ、3人死亡、60人の新たな感染者
- ・新聞報道：シンベトの長官がひそかにヨルダンを訪問

- ・ハマス、ジハード、人民戦線は、エルサレムの作戦を賞賛した。
- ・複数のNGOは、英国がハマスをテロ組織と宣言したことを非難した。
- ・占領軍は、殉教者アブシャカイダムの家を急襲し、彼の3人の家族を逮捕した。
- ・人民戦線はエルサレムの英雄的なプロセスを賞賛し、レジスタンスが最良の選択であることを強調した。
- ・複数の戦線に対応するための軍事演習が行われた。
- ・イスラエルの治安相：エルサレムでの銃撃攻撃は、ハマスによって行われた。
- ・ヘブロンで、入植者たちが市民の車を攻撃した。
- ・ヤッファで、イスラエル人を刺した青年が逮捕された。

11月22日

- ・ガンツは、エルサレム作戦のあと脅すメッセージを送った。
- ・ナブルス付近で、入植者たちが、パレスチナの車両をスマッシュした。
- ・首都は、入植者たちの狼藉に対峙した。
- ・入植者たちの挑発的行進とエルサレムでの対峙
- ・ガンツは、ワシントンとブリュセルに、経済的にパレスチナ自治政府を支援するように呼びかけた。
- ・占領軍は、西岸とエルサレムで12人の市民を逮捕した。
- ・米国は、イスラエルに、イランの核施設を攻撃した結果について警告した。
- ・ハーニユニスへのイスラエル機甲部隊の限定的な侵襲
- ・占領警察は非常事態のレベルをあげ、エルサレムのラシディア学校の学生を弾圧した。
- ・学生運動は、ガザの国連本部で、英国の決定への抗議を組織した。
- ・シンベトは、数十人のハマス活動家を、テロ攻撃を計画したということで逮捕。
- ・パレスチナのコロナ、2人死亡、250人の新たな感染者。
- ・占領軍は、トルカラムのザワイヤゲートを閉じると脅している。
- ・ヨルダンとパハレーン、パレスチナの大義が中心的であり、平和達成の重要性を再確認した。
- ・ヘブロンで、ハンストへの連帯の座り込み
- ・アップバースがロシアに到着、明日プーチンと話し合う。

11月23日

- ・ガザのコロナ、2人死亡、258人の新たな感染者。
- ・ベネット：我々は、イランとの取引の当事者ではないし、それに縛られない。
- ・ガザの東への占領軍の限定的な侵襲
- ・占領当局は、ブルキンの町の市民に、彼の土地を空けるように通知した。
- ・占領軍は、ワディ・アルーホモス建設中の家を解体した。
- ・ナブルス道路で、入植者たちは、市民の車を攻撃した。
- ・モロッコは、領空をイスラエルのドローンシステムで防衛している。
- ・攻撃と逮捕、占領軍は、殉教者アブシャケディーンの写真を破った。
- ・ヘブロン南部で、占領当局は、家を解体し、12の墓を破壊した。2件の家の解体を通知した。
- ・シュファット難民キャンプの殉教者アブシャカイダムの家が急襲された。
- ・占領当局は、アシラ・アルーシャマラの農業道路を破壊した。
- ・プーチンは、アフマーゼンに、ロシアのパレスチナ問題の解決の立場は、変わっていない。
- ・東部シリアで米軍基地が5発のミサイルの攻撃を受けた。

11月24日

- ・元モサド長官：テルアビブは、イランとの対峙能力がない。
- ・サイレナイカの住民は、入植者の攻撃を跳ね返した。
- ・アップルは、ベガサスキャンダルで、NSOを訴追
- ・カタールの大使がガザに到着した。
- ・シリアのホムスへのイスラエル攻撃で2人の殉教者7人の負傷者が出た。
- ・ガザのコロナ、3人死亡、106人の新たな感染者
- ・モロッコとイスラエルは相互理解の覚書に署名した。
- ・オーストラリアがヒズボラをテロ組織と規定
- ・イスラエルは、エルサレムに新たな入植地計画を発表する。
- ・西岸で占領軍が、プリナバタの3人の労働者を負傷させ、逮捕した。
- ・EUの大使の代表団がガザに到着した。
- ・ナブルスの南で、入植者たちの投石で、男とその息子が負傷した。
- ・占領軍の機甲部隊のガザ東部への限定的な侵襲
- ・パレスチナのコロナ、5人死亡、257人の新たな感染者
- ・ベルギーは、入植地の産品にラベルをつけることを決定した。イスラエルは非難。
- ・イスラム聖戦は、オーストラリアがヒズボラをテロ組織としたことを非難
- ・米国：イランが核爆弾の製造に近づきすぎたら黙っていることはない。
- ・イスラエルは、カランディア空港の土地に、入植地の建設をイスラエル承認した。
- ・イスラエルは南部レバノンの国境に軍事道路に沿って、鉄のフェンスを設置した。

・ナブルスの西で、入植者たちが、車を攻撃し、銃撃した。

11月25日

- ・シリワンで暴力的な衝突
- ・ガザのコロナ、一人死亡、86人の新たな感染者
- ・ハマスは、オーストラリアのヒズボラーへの決定を非難
- ・英国の下院は、ハマスを禁止する法案に投票した。
- ・IDF司令官は、我々は、現在、二つの戦略に基づいて、ガザに対応している。
- ・西岸とエルサレムで、占領軍は、21人の市民を逮捕した。
- ・ヘブロンノキリヤト・アルバ入植地に372戸の住宅の建設を承認した。
- ・パレスチナのコロナ、一人死亡、266人の新たな感染者
- ・入植地は、アルールバン・アルーシャルキヤの村のメインの入り口をブロックした。
- ・EUの代表団はガザの訪問を締めくくり、封鎖は、持続可能性を阻止している。
- ・占領当局は、エルサレム知事の自宅監禁を4か月延長した。
- ・イスラム聖戦：自治政府は、ジェニンで、運動のメンバーの数人を逮捕した。
- ・ラバトで、ガンツの訪問に抗議するデモを行った。
- ・イスラエルの占領当局は、エレット検問所で、市民を逮捕した。
- ・占領軍は、ベイトウマルの少年を逮捕した。
- ・ナブルスの南、ジャバル・サビ近く、占領軍は、土地を更地にし、農業道路を閉鎖した。

11月26日

- ・エジプトとイスラエルはガスの貿易に関する覚書に署名した。
- ・チュニジア大統領はパレスチナ問題についての自国の立場を再確認した。
- ・イスラエル軍当局者：我々は求められれば、どのようなところで地上作戦を行う。
- ・アンマンとイルビッドで、ヨルダンとイスラエルの合意に反対する行進が行われた。
- ・占領軍は、アルーアクサで二人のエルサレム人の写真を掲げたポスターを没収した。
- ・カフル・カッドムでの週礼の行進の弾圧でイスラエル軍の銃弾で6人が負傷した。
- ・パレスチナのコロナ、3人死亡、210人の新たな感染者
- ・占領軍は、ハーンユニスの東で農民に向かって発砲した。
- ・ガザのコロナ、一人死亡、77人の新たな感染者
- ・占領当局は、エルサレム知事が、唯一の娘の結婚式に参加することを阻止した。
- ・ヘブロンは熱いプレートの上にあり、入植地が、情勢を起爆させている。

11月27日

- ・パレスチナのコロナ、3人死亡、125人の新たな感染者
- ・ガザのコロナ、3人死亡、56人が新たな感染者

・占領軍は、パレスチナの船を攻撃し、2人の漁師を逮捕した。

・アルジェリア：イスラエルとモロッコは、ガンツのラバト訪問で我が国を標的にした。

・ガンツ：イスラエルは、イランに軍事的攻撃を開始する能力を進展させている。

・米国：ヒズボラが平和と安定への大きな障害物

11月28日

・オムレット：イスラエルは、イランに対して全面的な軍事キャンペーンを開始しない。

・ハニエ：占領軍の捕虜は、我々の捕虜が自由を謳歌するまで、太陽を見ることはない。

・ガザのコロナ、死者なし、70人の新たな感染者

・占領軍は、ツバスの南の水道を破壊

・占領軍は、ビルゼイトの町を急襲した。

・パレスチナのコロナ、一人の死亡、239人の新たな感染者

11月29日

・占領軍の大部隊がベツレヘムを襲撃

・ウイーンで、イランとの核交渉が再開

・ガザのコロナ、死者なし、138人の新たな感染者

・UNRWAの機関で全面的なストライキ

・パレスチナのコロナ、3人死亡、386人の新たな感染者

・ヘブロン獄中者に連帯する座り込み

・イスラエルと英国が、戦略的共同に関する覚書をむすんだ。

・土地の没収の準備として、占領当局は、ベイト・ハニアの商業施設を解体した。

・アラブ連盟が、国際パレスチナ連帯デーを祝った。

・占領当局は、ガザの北部のベイトハヌーン検問所で、ガザの商人を逮捕した。

11月30日

・ガザのコロナ、4人の死亡、121人の新たな感染者

・南部ガザ農地に向かって占領軍は発砲した。

・占領当局は、シリワンのアパートを解体した。

・クウェートは、イスラエル大統領がイブラヒムモスクを訪問するのを批判した。

・アマル・タカトカ、最高齢のパレスチナ女性獄中者が釈放された。

・イスラエルは、モロッコに自爆ドローンを供給

・シェイク・ジャラで、入植者たちが、蛮行を働き、壁画を消した。

・入植者たちはナブルス近くでタルムドの祭祀を行った。

・2017年以来初めて米国は自治政府の予算を支援した。



いにしえのエルサレム フェイルーズ

YOUTUBEでOld Jersarem聞けます。

私は、いにしえのエルサレムの通りを通り過ぎました

パレスチナから残されたお店の前で、

私たちは一緒にそれについて話しました、そして彼らは私に花瓶をくれます

彼らはそれが待っている人々からの贈り物だと私に言いました。

私は、いにしえのエルサレムの通りを通り過ぎました

友達になったドアに立ち寄りました

そして街の窓から見ている彼らの悲しい目

私を連れて行き、悲惨な亡命者に送ってくれました。

昔々、

土地があり、建てられた手がありました

彼らは太陽の下と風の下で建てていました

それから家と花の咲く窓がありました。

本を手にした子供たちがいました。

突然、ある暗い夜、

憎しみが家の影に溢れ、

黒い手がドアをはぎ取った

そして家は所有者なしになりました

オリブの会通信 第14号(通巻20号)

障害物になりました
所有者と彼らの家の間
とげ、火、黒い手の障害物。

私は、いにしへのエルサレムの通りで叫んでいます、
私の歌を嵐と雷に変えましょう
私の声は飛び続けます、
人々の良心の中の旋風、
何が起きているのかを彼らに伝えてください
多分彼らの良心が目覚めるように。

私の声は飛び続けます、
人々の良心の中の旋風、
何が起きているのかを彼らに伝えてください
多分彼らの良心が目覚めるように
何が起きているのかを彼らに伝えてください
多分彼らの良心が目覚めるように。

ファイルーズ もしくはフェイルーズ(アラビア語: فيلوز ,
ラテン文字転写例: Fairuz, Fairouz, Fayrouz, 1935年11月21
日-)は、レバノン出身の歌手。

「分厚いベルベット」に例えられる独特の美しい歌声で、一世代前
の大歌手ウム・クルスームらとともに、アラブ内外で最も知られ愛
されている歌手である。

本名はヌハード・ワディー・ハッダード。1935年、レバノンのジャ
バル・アル＝アルズ(杉の山)と呼ばれる地域で印刷屋の家に誕生
した。両親はシリア正教会の信者で、下にユースフ、フダー、ア
マルという名前の3人の弟妹がいる。なお、妹のフダー(□□□,
Huda)も1970年代に芸能活動を行っていたことがある。

1949年からペイルートのニア・イースト・ラジオで国民歌謡歌手
として歌手活動を始める。1953年に、このラジオ局の職員であり、
秀逸な音楽家でもあったハリーム・ルーミー(同じくレバノン人
の女性歌手マージダ・エル・ルーミーの父)はヌハードの歌声を聴
いて感動して彼女に曲を提供し、「ファイルーズ」という芸名を付
けた。また、1951年からラジオ局の音楽プロデューサーだったアー
シー・ラハバーニー(がファイルーズのために作詞・作曲を手が
けていたが、1953年から弟のマンスール・ラハバーニー ととも
に本格的に曲を提供することになり、オリジナルデビュー曲「Ghrub」
を発表する。これによって人気は高まり、翌年「(Yaba Lala)」がヒッ
トした結果、アラブ世界で知名度が広がった。

その後はアーシーと結婚してラハバーニー兄弟とともに多くの曲を
発表したほか、映画やオペレッタなどで活躍する。1979年にアー
シーと離婚した後は息子のジャードやジョゼフ・ハルブなどと多彩
な作詞・作曲家の曲を歌い、それまでよりアラブ色の強い傾向を打
ち出して行く。1980年以降は息子とともにコンサート活動に専念
し、1987年から1988年にかけてはロンドンやパリで公演を行い、成
功を収めた。

パレスチナの詩

からつぽの箱

ムハムドダルウイシュ

平和が2つの戦争の間の一時停止である場合、死者には投票権があります：私たちは将軍を選びます。戦争が高速道路で起こった事故なら、生きているものは投票する義務があります：私たちは□バを選びます。しかし、生きているものは、投票に行かない、何故なら雪が大きな結晶で降っていたためではなく、突然の麻痺が都市の住民を苦しめ、窓を開けると彼らはクモが雪の中で蜘蛛の巣を紡いでいるのを見て、盲目になったためである。彼らが、何が起きているのかを聞こうとすると、嵐が起こり、その荒々しい音は彼らにはなじみがなく、彼らは耳が聞こえなくなった。占星術師は次のように述べています。「最後の審判の入り口にある存在の混乱です。」私たちにあって幸運にも不幸にも、外国の歴史家、私たちの運命と口述の歴史の専門家はここにいなかったため、私たちに何が起こったのかわかりません!

おいしいパレスチナ

アダス・スープ (レンズマメのスープ)

Shorbat 'Adas Lentil Soup

甘いクリーミーなバターナッツスカッシュと濃厚な小麦粉のレンズ豆の組み合わせは、このスープを手と心温まる喜びにします。それは本当に寒い冬の数ヶ月をかわすのに役立つワンポットの驚異です。

(「パレスチナへようこそ」チームが作成したレシピと画像)

材料

サーブ6- 時間1時間15分

未調理の赤レンズ豆 200g

1 ミディアムバターナッツスカッシュ

大きな白ねぎ1個

にんにく4片

2 セロリの茎

にんじん1本

1 大赤唐辛子

1 中唐辛子

1 ミディアム握りのパセリ

2 リットルの野菜ストック

小さじ2 クミンシード

小さじ2 パプリカ

大さじ2 オリーブオイル

手順



大きなスープ鍋をオリーブオイルで中火にかけます。玉ねぎとにんにくを細かく刻み、柔らかくなり金色になり始めるまで炒めます。

スカッシュの皮をむき、種を取り除き、セロリ、ニンジン、コショウと一緒に大まかに1cm x1cmのチャンクに切ります。野菜を鍋に入れ、中火で15分炒めます。

クミンの種子が暗くなり始めるまで乾式トーストし、乳棒と乳鉢で粉碎します。クミンパウダー、パセリのみじん切り、唐辛子、パプリカを鍋に入れてよく混ぜます。さらに5分間調理します。

野菜ストックとレンズ豆を入れてかき混ぜ、安定した沸騰させます。中火で少なくとも45分間放置し、ハンドヘルドブレンダーでお好みの濃度になるまで電撃します。

レモンの絞りりとパンの塊を添えてください。

守ろう！オリーブの木を カンバのお願い



オリーブ畑再生基金の目的

土地を守ることは抵抗闘争である。パレスチナの農民の土地を守る闘い、生活を守る闘いを支援します。集まった基金は、パレスチナ農業労働委員会連合 (UAWC) に送ります。

郵便振替

記号番号：00960-2-303500番
名称：オリーブの会 (オリーブノカイ)

他行等から振り込む場合

店名 (店番)：〇九九店 (099)
預金種目：当座
口座番号0303500



12月7日 岡本公三さんの誕生日です。レバノンからパレスチナの仲間のメッセージとともに送られてきました

今号の内容

フェイスブックによるブロック・削除の脅しに抗議する・・・1

パレスチナ自治体選挙について・・・2

石の法規4周年・・・6

エルサレムの地図・・・7

人民戦線創立54周年・・・8

パレスチナ日誌・・・10

パレスチナの愛した歌フェイルーズ・13

パレスチナの詩・・・14

おいしいパレスチナ・・・15

トピック・・・16



ガザのクリスマス



西岸のクリスマス